

九建日報

発行所

株式会社 九建日報社

〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19

電話代表 092(431)5361番

FAX 092(431)7613番

購読料 1ヵ月6,300円

北九州支局 Ⅸ093(921)5011

佐賀支局 Ⅸ0952(62)2450

長崎支局 Ⅸ095(827)5595

熊本支局 Ⅸ096(363)1553

大分支局 Ⅸ097(594)0518

宮崎支局 Ⅸ0985(24)6688

鹿児島支局 Ⅸ099(259)3426

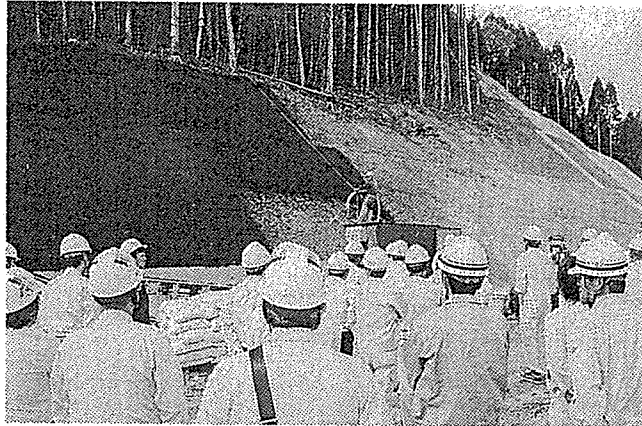
http://www.kyuukennippou.co.jp

F W G・ウッドチップ工法

ミラクルソル協会が見学会開催

法面保護と斜面緑化に貢献

【佐賀】ミラクルソル協会(原裕理事長)は24日、「F W G・ウッドチップ工法」の現場見学会を佐賀県有田町で開催



会を佐賀県有田町で開催
写真した。

同工法は、吸水性・保水性に優れたミラクルソルを活用した環境緑化工法の一つで、法面工事の現場で発生した伐採樹木をチップ化し、ミラクル

現場見学会に先立ち、ミラクルソル工法の説明会を有田町生涯学習センターで開催。
原理事長は「現在、ガラス廃材を再資源化したミラクルソルを活用し、

ソル混合の植生基盤材とともに吹き付けて戻すことで法面保護と斜面緑化を行うもの。見学会には国土交通省や佐賀県、市の職員、建設コンサルタント業者ら約140人が参加した。
環境緑化や環境土木、水環境の分野で20の工法を提案している。また、低炭素建設工法としてCO₂の削減にも貢献できる。廃棄物のリサイクルによる再資源化で循環型社会の形成に役立つと確信しており、今後も新材料や工法の開発に取り組んでいきたい」と述べ、ミラクルソルの特徴や工法開発の背景などを説明した。

説明会のあと、参加者らはF W G・ウッドチップ工法を採用している「町道尾ノ上下迎原線法面整備工事(有田町仏ノ原)」の現場に移動し、厚層基盤材の吹付け状況を見学。日本建設技術建設事業部の田中氏が施工フローなどを説明し、質

問に応じた。

同工法の特徴は法面工事で発生する伐採樹木の再利用。伐採した樹木を破碎してチップ化し、ミラクルソルを混ぜた植生基盤材、肥料、接合材、種子などとともに戻すことで法面保護と斜面緑化を行う。吹き付ける厚さは切土や盛土の状況、土壌の硬度、風化の程度などから決める。

今回の施工面積は約2500㎡で、チップと育成基盤材からなる厚層基盤材の厚みは5cm。育成基盤材には10%のミラクルソルを混合した。吹付け後は保水材となるミラクルソルが根の活着を促し、3週間程度で発芽が確認できるそうだ。